新型コロナウイルスワクチン接種についての情報提供

人類に対して初めて使用される遺伝子ワクチンは、まだ治験の途中で緊急使用されているため、効果や安全性の情報が不足しています。接種は強制ではありません。本人が希望する場合のみ接種が行われます。薬品の投与には必ずリスクが伴います。効果とリスクの双方を理解した上で、自らの意思で判断する必要があります。当院では患者様の健康を考え、最新の情報をご提供させて頂きます。判断材料としてご利用頂けると幸いです。

＜効果＞

・発症の予防および重症化の予防を期待（治験中のため効果は不明）

※あくまで発症の予防であり感染の予防効果は極めて低い（厚労省発表）

イギリスは非接種者より２回接種者の方が約４倍感染率が高いというデータを公表し、日本も同様の状況となっている

※４回目の接種が進んでいるイスラエルでは感染者の急増が止まらず、重症化する人も増え、死者も急増している。

※政府は接種証明書を発行しているが、国内での運用は感染抑止効果が確認出来ないため中止。予防接種法では非接種者への差別は許されないとの付帯決議が成されている。

＜リスク＞

◎日本における副作用の疑い事例（R.3.2/17～R.4.3/18 厚労省発表）

・死亡報告　１５７１件　→　１６６７件に増加！！（R.4 .4/13）

※平成３０年のインフルエンザワクチン接種後の死亡報告数３件

・重篤な副反応　６６３１件以上！！

心筋炎、脳血管障害、失明、ギランバレー症候群など

・２回以上の接種後９０％以上に発熱、頭痛、強い倦怠感、関節痛など（これらの症状は報告義務がないため副作用件数に含まれていない）

◎アメリカの状況（2022.3.18 時点　CDC 等発表）　副作用報告数 1237645 人

・死亡　27349 人　・入院　151589 人　・緊急ケア　127863 人　・心筋炎　39177 人

＜考察＞

３月より５～１１歳の接種が開始されているが、すでに多くの副作用被害が報告されている。特に血管迷走神経反射で失神する子供が多い。今後、遅延型アレルギーである心筋炎も多発する可能性も懸念される。北欧では副作用が強いとされるモデルナの接種を中止している国が多い。スウェーデンは 30 歳以下中止、アイスランドは全年齢中止、デンマークは 18 歳未満中止、フィンランドは 30 歳以下男性中止、ノルウェーは 18 歳以下非推奨。これは若年層に心筋炎などの重篤な副作用が相次いでいるため行われている対応だが、それに対し日本は５歳から接種を勧奨している。異常としか言いようがないだろう。治験中新薬の実験台に我が子を差し出す親の気持ちが理解できない。

ワクチン後遺症について

3 月 24 日に厚労省は、全国の都道府県に対しコロナワクチン接種後、長期間にわたる体調不良に悩む患者のため、相談窓口を整えることを通達しました。これは、いわゆる「ワクチン後遺症」の存在を政府が認めざるを得ないほど多発してきている紛れもない証拠です。先月、福島市のフォーラム福島にて『記録映像「ワクチン後遺症」上映会＆アフタートーク（井上正康氏×鳥集徹氏）in ふくしま』というイベントを、私が主催者の代表となり開催しました。記録映像「ワクチン後遺症」は、大阪で開催されたシンポジウムの様子を記録したもので、実際に後遺症に苦しんでいる方々の訴えや、治療にあたっている医師の見解、ウイルス学の専門家の知見、医療ジャーナリストが取材で目の当たりにした現実など、生々しい声を聴くことが出来ます。その記録映像を上映した後、大阪大学医学部名誉教授の井上正康先生と記録映像にも出演されている医療ジャーナリストの鳥集徹さんをお招きし、ワクチン後遺症やコロナの実態、医療界の裏側などについてご講演頂きました。参加者は県内外から集まり、全 153 席が前売りの段階で完売。当日券を求める方も多く、一部は通路に追加席を設けて対応しましたが、多くはお断りせざるを得ませんでした。それほどワクチン後遺症への関心が高まっているということです。

mRNA ワクチンは、体内でコロナのスパイク蛋白を産生し血液と伴に循環します。スパイク蛋白は血栓毒のため身体中に血栓が飛び様々な症状を呈します。例えば倦怠感が出るのは脳の血流障害です。通常 mRNA は異物なので短時間で処理されますが、ワクチンの mRNA は処理されないよう修飾されています。そのため蓄積された臓器でスパイクを作り続けるので免疫に攻撃され炎症を起こします。心筋炎はその一つです。しかし修飾された mRNA により Treg 細胞が誘導され免疫が抑制されるので症状は遅延して現れることが多くなります。それが後遺症です。そして免疫抑制により感染しやすくなる。接種が進むほど陽性者が増える所以です。繰り返し接種すると感染増強抗体が産生されコロナ感染時に ADE（抗体依存性感染増強）で重症化しやすくなります。先行するイスラエルの状況を見て接種を控える国も出始めています。感染も重症化も予防出来ず、身体中に毒を巡らせ全身炎を起こす。それが mRNA ワクチンです。ファイザーは内部治験中に 1291 種もの疾患発症を確認し、それを隠蔽していたことも判明しています。不都合な真実から目を逸らさず現実を直視しましょう。

週刊 事実報道
2022年4月21日(木) 356号

ワクチン副作用の実態

「遺族」からの声集め報告

「体中に赤紫色の模様が…」

副作用・後遺症の問題は一部メディアでも深刻に報じられています👆

講師の先生方とスタッフ一同👆子どもたちの命と未来を守るために活動していきます！